

四日市で 子どもを 育てる!!

ちゃんねる
運動

本市は、「子育てするなら四日市」「教育するなら四日市」として、多くの人に選ばれるまちを目指しています。産前から始まるお子さんの育児を支え、見守り取り組みとして、「四日市市子育て世代包括支援センター」を設置しています。今回の特集では、子育ての入り口となる産前産後、乳幼児期の子育てに関する情報をお知らせします。

今回の特集の内容は
市政情報等提供番組
「ちゃんねるよっかい
ち」地デジ12ch(CTY)でも紹介します。
●1月21日(月)～31日(木)放送
月・水・金・日曜日 9:30、20:30
火・木・土曜日 12:30、20:30

四日市市子育て世代包括支援センターでは、
それぞれの子育てのタイミングに合った、
サポートを行っています。



産前(妊婦)の皆さんへ

・育児学級パパママ教室・妊婦訪問指導 など



こども保健福祉課
助産師 隆 由佳

これから出産を迎える、お母さん、お父さんに、パパママ教室などを通して、妊娠中のお母さんの身体のことを知ってもらったり、出産や産後についての不安を解消したりするための手助けをしています。不安や悩みを1人で抱え込まずに、気軽にご相談ください。



パパママ教室



産後(産婦・新生児)の皆さんへ

・こんにちは赤ちゃん訪問・電話相談 など



こんにちは
赤ちゃん訪問

生後1～3カ月の赤ちゃんがいる市内全ての家庭に伺い、子育ての様子をお聴きしながら、本市の子育て支援に関する情報をお届けしているのが、「こんにちは赤ちゃん訪問」です。市が委託しているNPO法人体験ひろば☆子どもスペース四日市のスタッフが訪問しますが、専門的な相談の場合は、助産師や保健師も訪問しています。気になることがあれば、まずは「育児・健康ホットライン」にお電話ください。



こども保健福祉課
保健師 伊藤 絹子

四日市市子育て世代包括支援センター (こども保健福祉課 母子保健係)



四日市市子育て世代包括支援センターとは、妊娠・出産から子育て期を通して切れ目なく支援を行う拠点です。

保健師、看護師、助産師、管理栄養士、歯科医師、歯科衛生士が配置されています。皆さんの相談を受け、共に考え、助言をすることはもちろん、各時期に合わせた教室や訪問指導などを行いながら、子育て世代の皆さんに寄り添い、支える取り組みを行っています。

育児・健康ホットライン

妊産婦や乳幼児の育児・健康に関して、保健師や助産師など専門職員による電話相談を行っています。個人情報を守られますので、気軽にご利用ください。



☎ 354-8187
(受付時間 月～金曜日 8:30～17:15)

子育て中の皆さんへ

・すくすくルーム・パンダひろば・ぽっぽでの巡回相談 など



こども保健福祉課
看護師 今坂 いづみ

子どもの発達や成長などで不安な気持ちを抱えたり、「他のパパママはどうしているの?」と気になったりすることも多いと思います。

そのようなときには、総合会館3階にある「すくすくルーム」や、市内にある「子育て支援センター(ぽっぽ・あっぷぷ など)」をご利用ください。施設のスタッフや、他の親子と交流することもできますし、保健師や栄養士の相談日もあります。

「子育て支援センターに一人で行くのは不安...」という人には、保護者同士の交流の場であるパンダひろばがおすすめです!



パンダひろばを
次ページで
詳しくチェック!

パンダひろばを体験してみよう

パンダひろば

対象者：市内に在住する生後6カ月
までの赤ちゃんとその家族
場所：総合会館5階
日時：毎月1回開催
10:00~11:00ごろ(9:45受け付け)
持ち物：母子健康手帳
詳しくは、市ホームページ
(HP ID)1001000001228)
または、こども保健福祉課
☎354-8187へ

地域の子育て支援センターへ



橋北子育て支援センター(ぼっぼ)
パンダひろばをきっかけに、各地域の子育て支援センターへもぜひ遊びに行ってみてください。子育て支援センターについて詳しくは、ホームページ(HP ID)1001000001265)へ



班分け



住んでいる地域や、子どもの月齢によって7~8人のグループに分かれます。



みんなでフリートークを楽しみます。住んでいるエリアや、月齢が近い人たちで話すので、話題はたくさんあります。

受け付け



10:00のスタートに合わせて9:45から受け付けを開始します。途中参加もできます。

連絡先の交換も



仲良くなった人と連絡先を交換する人もいます。



みんなでワイワイ



みんなでわいわい話しているとあっという間に1時間が経ちます。



保健師も参加



保健師もその場にいるので、質問もできます。

パンダひろば担当者に聞きました

引っ越してきたばかりで、友達や相談相手を作りたい人や、まだ首の据わらない子どもでも一緒に連れていける場所がほしい人などが、このパンダひろばに参加されています。同じ時期の悩みを共有できることで、子育てのやる気も上がると思います。パンダひろばは保護者同士の交流が主な目的ですが、保健師もいますので個別の相談もしていただけます。ぜひ一度、パンダひろばに参加して、楽しい時間を過ごしてください。



こども保健福祉課
保健師 上川 幸子

利用者の声

今6カ月だから、今日が最後で寂しいです

スタッフが優しかったです

1人の時間が多かったので、いろんな人と交流できてよかったです

次のパンダひろばが待ち遠しいです

四日市に友達が少ないので、友達ができてうれしいです

月齢別でグループになっているのがよかったです



まだまだあります

四日市市での 子育て情報

本市では、このほかにもさまざまな子育て支援施策を行っています。平成30年度からは第3子の保育園や幼稚園の保育料完全無償化や、学童保育所の新築・大規模改修に対する補助の拡大などに取り組んでいます。その中で、ここでは四つの施策を紹介します。

こども医療費窓口負担無料化

平成30年4月から始まった乳幼児の医療費窓口負担無料化も、運用開始から早9カ月が経過しました。実際に病院で利用している皆さんの声を聞きました。



受給者証

〈利用者の声〉

- ・以前よりもとても楽になった
- ・手持ちがないときでも安心して病院に行ける
- ・子どもも体調が悪くぐずっているため、財布を出す手間が減るだけでもすごく助かる
- ・きょうだいも一緒に連れてくるので、会計に時間が取られず子どもを見ていられる



病院の窓口で受給者証を提示するだけ



民間保育所の整備(待機児童対策)

待機児童の解消のため、民間保育所の新設など整備を進めています。昨年4月に2園が開園したほか、来年度も3園が開園する予定です。



保育園への入園を希望する市民の皆さんが安心して利用できるように、民間保育所と連携して整備を進めています。保育園への入園手続きなど、不明な点は保育幼稚園課(☎354-8172)へお尋ねください。



保育幼稚園課 なが ひさ りょう 永久 怜

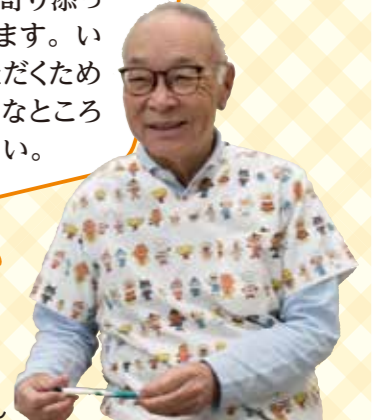
病児保育室整備

病児保育室は、病気療養中のお子さんを一時的に預かる施設です。現在、市内にはカンガルーム(中部8-17)とチェリーケア(桜花台一丁目45-1)があります。平成31年4月には3カ所目となるひばりルーム(西大鐘町1607-1)も開所予定です。



カンガルーム保育室(二宮メディカルクリニック)

病児保育室は子どもと保護者が一番不安なときに使うものなので、スタッフ全員が利用者に寄り添っていけるよう心掛けています。いざというときにご利用いただくためにも、病児保育室がどんなところかぜひ見学にお越しください。



二宮メディカルクリニック 小児科医 二宮 剛美さん

あけぼの学園移転整備

あけぼの学園は、保育園・幼稚園・こども園入園前の発達心配な乳幼児の早期支援・保育の場です。

平成31年4月に県地区(下海老町)への移転を予定しています。



あけぼの学園完成予想図

あけぼの学園では、保育士をはじめ、言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・臨床心理士などの専門職が、言葉・身体運動面・生活面など心身の基礎的発達を促すための支援を行なっています。子どもの発達に不安のある人は、気軽にご相談ください。(☎322-2714)



あけぼの学園 臨床心理士 千々木 将太

これからも 子育てするなら四日市



●この特集についてのお問い合わせ・ご意見は

こども未来課 ☎354-8038 FAX 354-8061
 こども保健福祉課 ☎354-8187 FAX 354-8061
 広報マーケティング課 ☎354-8244 FAX 354-8315